

のびのび通信 第67号

2011年10月

社会への一歩のお手伝い



「のびのび」初めての企画です。赤い羽根募金による助成金を活用して、中高校生を対象として「面接試験」体験を実施しました。参加者は少数でしたが、自分に必要なことだからと真剣に学習する姿がまぶしい！参加に際しては、ソーシャルアティクルで面接体験の意義を伝えたくて、自己判断で参加を決めています。講師は、面接試験の試験官を実務的にされている方をお願いし、数パターンの面接を体験しました。

秋恒例の遠足は、日帰り旅行にバージョンアップ！



午前6時40分。こんな早くにJR益田駅に集合する「のびのび」メンバー。10月30日は、のびのび企画の遠足で、初めてJRで移動します。そんなバージョンアップに、「遠足」を「日帰り旅行」という名前に変えて、その内容も、社会に一歩近づくよう工夫しました。

まず、こんなに早い集合時間、誰ひとり遅刻なし！



行先は、松江フォークルパーク。電車の乗り換えも体験です。駅から駅への移動中、露店が出店されていましたが、そちらに吸収されることもありません。みんな目標に沿って、ひたすら歩きました。

フォークルパークでは、鳥さんと思う存分触れ合っただけですが、予想外に時間が余ってしまって、スタッフとしては、一大決心で予定変更です。追加で、次の施設に移動することに……。そこは、電車に乗って出雲市の子ども科学館。ここでも、急な予定変更で混乱することなく、好きな科学実験に集中です。

※この日帰り旅行は、益田市社会福祉協議会の地域福祉活動助成金を活用しています。

その他の活動

8月～9月は、地域の行事や運動会などの学校行事を重なるため、子ども達への支援活動はお休みです。その間、大人は、活動に備えてしっかりお勉強です。今年は、朝日新聞厚生文化事業団主催のセミナーに参加し、より一層知識を深めました。



～東京会場～



～福岡会場～

「のびのびの夏は、暑い！」を合言葉に毎年企画している専門セミナーですが、今年もコミュニケーション支援をテーマに、内容を検討しました。その結果、佐賀県武雄市から納富先生・篠田先生のお二人をお招きし、コミック会話など会話の見える化について学びました。セミナー終了後、その成果をあらこちらで聞きます。「のびのび」の中でも、ちょっとしたトラブルの解決に活用することができ、研修の成果を感じたところです。学びを実践に結びつけることの大切さを実感しています。



発行：発達障害児支援サークル「のびのび」